

◎ 月一報恩講：毎月28日（土日なら金）13時30分～15時
月ごとのテーマ

1/27(金) 「お正月は、めでたいのか」

2024年総死没者追弔会も動行いたします。

1/28(火) 「仏教は、何の役に立つのか」

2/28(金) (雑談しながら) 仏具のお磨き

3/28(金) 「生きてるだけで、価値はあるのか」

◎ 死別の分かちあいの集い：13時～15時

・夫を亡くした方：毎月第1土曜日(1/4・2/1・3/1・4/5・5/3)

・自死遺族の方：毎月最終土曜日(12/28・1/25・2/22・3/29)
当事者の方々の分かちあいの集いです。たまたまに住職も参加します。

◎ 体操教室・整体教室・寺ヨガ教室・よろず相談会

毎月開催していますが、日にちを固定していないので、境内墓地側の掲示板をご覧ください。お寺までお問い合わせください。

◇ 寺院護持費(墓地管理費)について

遠方の方は、お振込もどうぞご利用ください。

【ゆうちょ銀行 15190-55770601】

他金融機関からゆうちょ銀行へ振り込まれる際は、次のように入力してください。

【店名】五一八(読み ゴイチハチ)

【店番】518(普通預金)5577060

◇ 報告・連絡・“借”談

新井監督2年目の2024年は、まさか…最終盤で1位から4位へ…。2025年も例年通りマツダスタジアムチケット団体予約を申し込みますが、BBQテラス席もチャレンジしようと思います。個人的にチケットを希望される方は、一緒に申し込みますので遠慮なくお申し付けください。

発行人：超覚寺住職 釈隆恩(和田隆彦) (*-*)人i~合掌

2024年12月冬 超覚寺報 第65号

【八丁堀だより】



広島カープ2025年キャッチフレーズ

浄土真宗(真宗大谷派・東本願寺)



林鶯山 超覚寺
憶西院

RIN-O-ZAN OKU-ZEI-IN CHO-KAKU-JI

[since 14 暦2162, 西暦1619, 元和5]

〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀 5-2

Tel : 082-221-1234 ; 090-9999-3113

Mail : wada@namuamidabutsu.com

HP : http://www.namuamidabutsu.com

http://mytera.jp/tera/48chokakuji

超覚寺 冬の法要のお知らせ

慈光のもと、平素は様々にお世話になっておりますこと、
ありがたく存じます。

さて、下記の通り法要・法座を勤修いたしますので、
ご参詣くださいますよう、ご案内申し上げます。<(_ _)>

◎ 2025年 修正会法要 (例年の法要時刻を変更しました)

1月1日(水・祝) 7時～、8時30分～、10時～、11時30分～、
修正会とは、お正月に修する法会のこと、仏教の各宗派で勤まれます。
一般にお正月といえば、「これから良い一年になるように、悪いことが起こ
らないように」と、様々な行事が行われます。しかし、浄土真宗における修
正会とは、聞法の一年を歩み出す最初の御仏事です。事のよし悪しに振り
回される自分自身を見つめ直し、どのような出来事もお念仏の教えを聞
くご縁とさせていただきます。ここから始めていきましょう。

◎ 2025年 春季彼岸会法要

3月23日(日) 13時30分～ 勤行:住職

14時～(休憩)～15時30分頃

高座説教:祖父江佳乃師(名古屋市有隣寺住職)

今年も祖父江佳乃師にご出講いただきました。私と同じ年ですが、勝手に
“師匠”と仰いでおります。どのようなお話をされるのか毎回楽しみです。

◎ 2025年 超覚寺花まつりマルシェ

4月6日(日) 13時30分～ 16時頃

釈尊降誕会(花まつり)では、花御堂と誕生仏を掲示板前に設置してい
るだけでしたが、今回は本堂にて法要とイベントを企画しております。

ご自身の商品や趣味をご披露くださる方を募集しております。興味のあ
る方は、お寺までご連絡ください。現時点では、水引や裁縫の作品展示、
遺影撮影会を予定しています。

◎ 2025(令和7)年の法要日程予定

- ・1月1日(水・祝) 修正会 6時・8時・10時・12時
- ・3月23日(日) 春季彼岸会 13時30分
- ・4月6日(日) 花まつりマルシェ 13時30分～
- ・8月6日(水)・9日(土) 広島・長崎原爆殉難者追弔会
- ・8月14～16日(木金土) 盂蘭盆会 10時
- ・9月21日(土) 秋季彼岸会 13時30分
- ・10月某日 第4回 八丁堀落語会
- ・11月8日(土) 報恩講 13時30分

◇ 2025(令和7)年の御法事をご確認ください。

- ・2024(令和6)年: 1周忌 ・2023(令和5)年: 3回忌
- ・2019(平成31)年: 7回忌 ・2013(平成25)年: 13回忌
- ・2009(平成21)年: 17回忌 ・2001(平成13)年: 25回忌
- ・1993(平成5)年: 33回忌 ・1976(昭和51)年: 50回忌

お勤めはお寺でも御自宅でも大丈夫です。希望日時をお早めに御連
絡ください。境内墓地通路脇の案内板にも該当者名を掲示してあります。

☆ 2025(令和7)年に慶事のある方へ

成人式を迎える方、結婚される方、出産される方へ、東本願寺から
のお祝いとして、記念品(お念珠)を授与いたします。この慶事を機
縁として、お仏壇や本堂の仏様へのお参りや、ご先祖さまへのお墓
参りが報恩謝徳であること、お念珠を把持することの大切さ等をお
伝えしたいと思います。どうぞ、いつでもお申し出ください。

◇ “寺”後報告 11月16日 『超覚寺報恩講』



雨天の予報でしたが降雨も無く、31名の方がお参りくださいました。昨年に引き続き、大谷派僧侶で声楽家の大西貴浩師にご出講頂きました。

前半は昨年と同じく真宗大谷派勤行集の仏教讃歌を全て歌っていた頂きました。プロでも歌うのがしんどい曲があるそうで、なかなか耳にしない曲があるのも当然なんだと思います。

前日入りされて、すぐ3時間のリハーサル、当日の午前も2時間みっちりリハーサルされ、前日の懇親会でもアルコールは飲まず、プロなのに？いえいえプロだからこそ、ここまで準備されるんだと感銘を受けました。

後半は事前に募集していたリクエスト曲、「瑠璃色の地球」「女ひとり」「千の風になって」を、リクエストされた方と対話しながら歌唱されました。その後は、大西師ご自身が選ばれた「死んだ男の残したものは」「荒城の月 滝廉太郎バージョン」「朝は来る(大西師作詞曲)」「ふるさと」「それ行けカープ」を、予定時間を越えて熱唱くださいました。

お参りされた中で何人もの方々が涙されていました。心打つ歌詞が大西師の歌唱と相まって、より心に来るものがあったのでしよう。辛かった思いを吐露されたり、歌を通してのグリーフケアが実践できたのではないかと思います。今回は午後からのお勤めでしたので、お斎は折に詰めて夕飯用にとお持ち帰りいただきました。ちなみに拙寺のお斎は、坊守が全て一人で調理しております。

後日、大谷師はSNSにこのように綴っておられました。『演奏して帰ってきて朝起きて、いま体重を測ったら2キロ痩せてた。真宗大谷派勤行集の中の歌を一通り歌って30分、前奏後奏がない曲がほとんどなので休む間もなく歌い続け、最後は目がボヤけて頭クラクラして、気を抜くと倒れてしまっそうだった。意識が遠のかないように、蠟燭の炎を凝視して乗り切った笑』

大西先生、そこまで頑張っていただけ、ありがとうございます。

☆ お寺の掲示板大賞2024

仏教伝道協会主催のこのイベントも7年目になり、超覚寺は2回目の大賞を受賞しました。皆さんも「#お寺の掲示板」で検索し、ご笑覧ください。

望むと望むまいと
あなたは
独りじゃない。

講評:孤独な状態を望む人、望んでいないのに孤独な状態に陥る人、タイプは様々ですが、この世に独り生きてきている人など存在しません。どのような人も人間・生物・自然を含め無数の目に見えない繋がり(縁起)の中で生かされていきます。社会の中の孤独・孤立問題が深刻化し、分断が強く叫ばれる現在の世の中だからこそ、繋がり(縁起)を離れて生きていたいと思います。

他にも下記のコメントがネット上にありました。

今年の「輝け!お寺の掲示板大賞2024」でこの標語が選ばれました。読み返すたびにその深さが伝わってきます。現代社会の抱える問題と、それでも人が他者とのつながりを必要とする本質を見事に看破しているこの言葉。まさに、時代の空気を的確に切り取ったメッセージといえるでしょう。

この標語が特に興味深いのは、現代人の「プラスチックな孤独感」と「人間関係の不可避性」という二律背反を描いている点です。現代の多くの人々が、SNSやデジタルツールによって繋がりを感ずる一方で、心の底に孤独を抱えています。しかし、この言葉は、「望むと望まないにかかわらず、あなたは誰かと繋がっている」という普遍的な真理を教えてくださいました。まさに、シンプルでありながら奥深い洞察を含んでいるのです。

仕事柄、多くのお寺を訪れる機会のある私は、必ずそのお寺の掲示板をチェックすることにしています。掲示板に掲げられた言葉や標語は、日常に追われる心をふと立ち止まらせてくれる力があります。お寺という場所は、一般的には堅いイメージがあり、高齢者向けの空間と思われがち。しかし、このような企画によって、遊び心と深い洞察を融合させた言葉が生まれるのは素晴らしいことです。今年の大賞作品には深く考えさせられました。日常の喧騒の中で、こうした言葉に出会えるのは貴重な体験ではないかと。お寺の掲示板は、まるで小さなアートギャラリーのような役割を果たしていると言えるでしょう。多くのお寺に力を入れてほしいと密かに思っております。(岡橋秀樹/終活ビジネスDX企画)

☆「お寺の掲示板」の深〜い言葉

師走恒例「輝け!お寺の掲示板大賞2024」受賞作品発表の時期が今年も訪れました。ウクライナで、中東で戦火は止まず、物価高で「減税」を望む声が高まり、選挙はSNSに翻弄された2024年でしたが、大賞受賞作品のテーマは「孤独」です。(解説/僧侶 江田智昭)

《選んだ孤独はよい孤独》

今年も早いもので、「輝け!お寺の掲示板大賞2024」の受賞作品を発表する日がやって参りました。7回目(TVドラマ風)という『シーズン7』となる今回は、2024年7月1日から9月30日までの応募期間中にお寄せいただいた3755作品の中から、審査員一同じっくり検討いたしました。今回も非常にたくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございます。

投稿された作品の傾向を分析してみますと、今回は流行を追い求める言葉が減少し、仏教の教えに基づいた、しつかりとした言葉が多い印象を受けました。

審査の結果、大賞には「お寺の掲示板大賞」の常連でもある超覚寺(広島市中区)の作品「望もうと望ままいとあなたは独りじゃない。」が選ばれました。おめでとうございます。

第6回は日蓮宗の妙円寺(東京都渋谷区)の「言葉だけ立派な者は敵である 釈尊」という厳しい言葉が大賞を取りましたが、今回は逆に、温かい言葉が選ばれました。

「選んだ孤独はよい孤独」(フランスの言い習わし)という言葉があるそうです。この言葉は、朝日新聞の鷲田清一さんの「折々のことば」のコーナーで以前紹介されてきました。現在、独りで生活を送ることを自主的に選ぶ人が増えてきています。自らの意思で選んだ孤独は、確かにその人の人生を豊かにさせる側面があります。

年末にかけて多くの有名人の訃報が伝えられました。中でも代表作『二十億光年の孤独』の詩人・谷川俊太郎さんの残された言葉の数々が今の時代に突き刺さります。糸井重里さんが、著書『ふたつめのボールのようなことば。』(ほぼ日文庫)の中で紹介しています。

「谷川さん、孤独なんですか?」と訊(き)かれて、

「だって、孤独は前提なんですよ」と言いましたっけ。

人間にとって「前提」となる孤独とは、どのように向き合えばいいのでしょうか。

《つながりという「縁起」の中で生きる》

能動的に孤独を選ぶ人がいる半面、孤独な状態に追い込まれる人もいます。年を取れば取るほど、身内や親友との死別があり、望まない孤独に陥る可能性が高くなります。こうした「望まない孤独」は、精神や肉体に大きな悪影響を及ぼすことが、近年さまざまな調査でも判明し、高齢化が進む先進各国の政府も、孤独問題に積極的に取り組むようになってきています。

孤独を望もうと望ままいと、私たちは「つながり」の中でしか存在することができません。人間は決して独りで生きていくことはできないからです。無数のつながりの中で、今私は生かされています。このつながり、仏教では「縁起」といいです。

「縁起」を示す有名なエピソードがあります。ティク・ナット・ハンというベトナム人の僧侶が「この一枚の紙のなかに雲が浮かんで見えますか?」と質問したそうです。あなたがどのように答えますか。

雲がなくて雨降らず、雨が降らずには樹木が育ちません。そして、樹木がなければ紙は作れません。雲→雨→樹木→紙。みなさんはこのつながりを瞬時に想像できましたか?

この世界に存在するすべてのものは、このようなつながりの中にあります。ですから、自分自身は周りのものと、どのようなつながりがあり、果たして何が自分を形づくっているのかを、1年の終わりのこの時期に、一度思い浮かべてみてください。

両親・先祖・友人・空気・太陽・雲・雨・大地・樹木・動物……。きつと自分が無数のつながりの中に存在していることが分かるはずで、その中の何かがあっても欠けていたら、この私という存在はなかったのかもしれない。

「孤独」を強く感じる一つの原因は、このようなつながりの想像力の欠如にあると思われれます。もしあなたが孤独を感じたとしても、決して「独り」ではありません。「望もうと望ままいとあなたは独りじゃない。」のです。

師走は慌ただしく、年末に向け締め切りに追われる日々を送っております。続く受賞作の数々につきましては、年明けから順次、またご紹介をさせていただきますたいと思います。みなさま、良いお年をお迎えください。2025年も「掲示板」ともども、よろしくお願ひいたします。(ダイヤモンドオンラインより)